

南にえるかこの汽笛 平野君！

怒り新たに 追悼2周年 勝浦集会

日刊 勤労千葉

86.4.8
No. 2210

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二九三五）六（公衆）〇四七二（22）七〇七

一九八四年三月三十日、茂原ノ八積間、細代踏切で、コンクリートミキサ車と衝突し、殉職した平野雅夫君の二周年をいたみ、三月二十九日、勝浦支部において各支部参加のもと、追悼集会が開催された。

平野君の死を無駄にしない。
必ず分割・民営化を阻止する

冒頭、全員による黙悼を行ったあと、中村副支部長の司会で集会が行われた。支部を代表してたつた鶴岡支部長は、「動労千葉は、どの組合よりも運転保安を重視して闘ってきた。今、分割・民営化攻撃の中で、労働強化、検修の手抜き



血にまみれた乗務員が、残された。押しつぶされた運転台。が行われ、いつの重大事故が起きてもおかしくない状況にある。平野君の死を無駄にしないためにも更なる運転保安の強化、分割・民営化阻止に全力をあげて取り組



まねばならない」とあいさつした。続いて、当時の中野委員長の弔辞が読みあげられ、全員が平野君虐殺への無念と怒りを新たにした。

本部を代表して、水野副委員長、各支部を代表して、綾部津田沼支部書記長があいさつを行い、最後に勝浦支部乗務員分科会を代表して、出水事務長から決意表明が行われた。追悼集会終了後、勤務者を除く全員で平野家を訪れ、焼香を行い、散会した。同時に、この日、十時三十分を期して、全列車を対象に虐殺弾劾の長爰汽笛一声の抗議行動が取り組まれた。

訃報

かねてから病氣療養中でありました暮張電車区検査係・篠塚寧氏が、四月二日午前二時薬石の効なくご逝去されました。

生前、氏は、永らく本部検査検修分科会長、本部サークル協事務局長の重責を務められ、又、支部にあっても執行委員を歴任されるなど、組合の中心柱として活躍され、五〇才という若さでのご逝去に、ご家族はじめ多くの仲間から深い悲しみが寄せられました。

四月四日の告別式には、職場の仲間、後輩、全支部からの代表など多くの仲間がかけつけ、中野委員長が代表して弔辞を述べ、最期の別れを告げました。

謹んで哀悼の意を表すると共に、氏のご冥福をお祈りいたします。